



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年10月31日

上場会社名 セントラル硝子株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4044 URL <http://www.cgco.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 皿澤 修一
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理室長 (氏名) 河部 守弘 TEL 03-3259-7062
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日 配当支払開始予定日 平成28年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	105,380	△8.4	5,809	△14.2	5,764	△15.6	4,352	△9.5
28年3月期第2四半期	115,076	27.7	6,769	52.7	6,829	21.9	4,808	21.2

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △1,886百万円 (-%) 28年3月期第2四半期 4,822百万円 (△33.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	21.18	—
28年3月期第2四半期	23.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	268,060	156,206	57.3
28年3月期	278,907	159,946	56.3

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 153,552百万円 28年3月期 157,106百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
29年3月期	—	6.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	5.00	11.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 平成29年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 5円00銭 記念配当 1円00銭

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	227,000	△3.6	13,000	△6.8	13,400	△8.3	10,000	△0.5	48.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	214,879,975株	28年3月期	214,879,975株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	10,327,804株	28年3月期	8,424,949株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	205,503,396株	28年3月期2Q	208,716,874株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当期の経営成績

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善基調が続いているものの、個人消費の回復には弱さが見られ、中国経済成長率の低下や円高傾向の定着による輸出の減少などにより企業収益の改善に足踏みが見られるなど、景気の回復にも停滞感が生じています。

一方、世界経済は、米国では個人消費の底堅さを背景に景気回復が続いているものの、中国では債務や設備の過剰感から民間投資の低下などにより以前ほどの高成長は見込めず、英国のEU離脱決定の影響や世界的な地政学的リスクの高まりなどにより、先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済環境の下、当社グループは積極的な販売活動を展開いたしましたが、円高と前期生産停止した事業などの影響により、当第2四半期連結累計期間の売上高は105,380百万円と前年同期比8.4%の減少となりました。

損益面につきましては、経営全般にわたる業務の効率化・合理化施策を推進してまいりましたが、経常利益は前年同期比1,065百万円減少の5,764百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比455百万円減少の4,352百万円となりました。

②セグメント別の概況

(ガラス事業)

建築用ガラスにつきましては、住宅需要が堅調に推移しており、省エネ関連商品などの販売も増加しましたことから、売上高は前年同期を上回りました。

自動車用ガラスにつきましては、国内の軽自動車向けの出荷が減少したことに加え、北米の自動車市場は好況であるものの為替の影響を受け、売上高は前年同期を下回りました。

電子材料用ガラスにつきましては、タッチパネル用関連製品の出荷量減少から、売上高は前年同期を下回りました。

以上、ガラス事業の売上高は69,461百万円（前年同期比7.1%減）となり、損益につきましては1,276百万円の営業利益（前年同期比1,813百万円の増加）となりました。

(化成品事業)

化学品につきましては、フルオロカーボン製品の出荷は増加しましたが、ソーダ灰関連製品の生産停止により、売上高は前年同期を下回りました。

ファインケミカルにつきましては、リチウムイオン電池用電解液製品や農薬関連製品の出荷は増加しましたが、医薬品関連や半導体用途の特殊ガス関連製品など為替の影響も受け輸出売上が減少し、売上高は前年同期を下回りました。

肥料につきましては、価格改定の影響と、今後の価格先安感により出荷が下期にずれ込んだことから、売上高は前年同期を下回りました。

ガラス繊維につきましては、住宅・建材分野の出荷が減少し、売上高は前年同期を下回りました。

以上、化成品事業の売上高は35,919百万円（前年同期比10.9%減）となり、損益につきましては4,532百万円の営業利益（前年同期比2,769百万円の減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ、配当の支払と自己株式の取得などにより現金及び預金が3,028百万円、原材料などの減少によりたな卸資産が2,149百万円、受取手形及び売掛金が1,890百万円減少したことなどにより、10,846百万円減少し268,060百万円となりました。

負債は、有利子負債が2,106百万円、支払手形及び買掛金が1,153百万円、未払法人税等が922百万円減少したことなどにより、7,106百万円減少し111,854百万円となりました。

純資産は親会社株主に帰属する四半期純利益により4,352百万円増加する一方、配当の支払と自己株式の取得により2,033百万円、円高により為替換算調整勘定が6,663百万円減少したことなどにより、3,740百万円減少し156,206百万円となりました。また、自己資本比率は1.0%増加し57.3%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は前連結会計年度末に比べ、2,958百万円減少し、15,893百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金収支は、税金等調整前四半期純利益5,884百万円、減価償却費4,941百万円などにより、7,855百万円の収入(前年同期は12,617百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金収支は、有形固定資産の取得による支出8,748百万円などにより、8,233百万円の支出(前年同期は11,409百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金収支は、自己株式の取得による支出1,001百万円、配当の支払額1,032百万円などにより、1,862百万円の支出(前年同期は437百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間につきましては、ほぼ計画に沿った業績で推移しておりますため、平成28年5月11日に公表いたしました通期の業績予想は修正しておりません。この業績予想は、当社が現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は様々な要因によりこれらの予想とは異なる場合があります。今後の状況の変化に伴う影響を慎重に見極めながら、適宜見直していくこととしております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税期資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

これによる連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,372	16,344
受取手形及び売掛金	45,547	43,657
商品及び製品	27,139	26,519
仕掛品	2,771	2,800
原材料及び貯蔵品	15,689	14,132
その他	7,383	5,743
貸倒引当金	△159	△96
流動資産合計	117,745	109,101
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	25,218	24,343
機械装置及び運搬具(純額)	37,281	35,212
土地	25,077	24,866
建設仮勘定	13,047	14,972
その他(純額)	3,356	3,200
有形固定資産合計	103,980	102,596
無形固定資産		
のれん	104	60
その他	1,356	1,218
無形固定資産合計	1,460	1,279
投資その他の資産		
投資有価証券	50,011	49,539
その他	6,032	5,838
貸倒引当金	△323	△293
投資その他の資産合計	55,720	55,084
固定資産合計	161,161	158,959
資産合計	278,907	268,060

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,884	18,730
短期借入金	25,899	15,849
未払法人税等	2,113	1,190
賞与引当金	1,430	1,516
工事損失引当金	4	13
その他	21,639	21,381
流動負債合計	70,971	58,682
固定負債		
社債	20,400	20,400
長期借入金	9,128	14,071
役員退職慰労引当金	12	12
特別修繕引当金	4,439	4,765
事業構造改善引当金	3,728	3,283
環境対策引当金	145	145
退職給付に係る負債	7,233	7,473
その他	2,901	3,019
固定負債合計	47,989	53,172
負債合計	118,961	111,854
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,168	18,168
資本剰余金	8,117	8,117
利益剰余金	114,610	118,185
自己株式	△4,377	△5,378
株主資本合計	136,519	139,093
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,222	18,800
繰延ヘッジ損益	61	73
為替換算調整勘定	1,876	△4,787
退職給付に係る調整累計額	425	371
その他の包括利益累計額合計	20,586	14,458
非支配株主持分	2,840	2,654
純資産合計	159,946	156,206
負債純資産合計	278,907	268,060

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	115,076	105,380
売上原価	90,692	82,565
売上総利益	24,384	22,814
販売費及び一般管理費	17,614	17,005
営業利益	6,769	5,809
営業外収益		
受取利息	11	11
受取配当金	432	622
持分法による投資利益	86	193
為替差益	54	—
その他	683	732
営業外収益合計	1,268	1,559
営業外費用		
支払利息	208	222
為替差損	—	589
その他	1,000	791
営業外費用合計	1,208	1,604
経常利益	6,829	5,764
特別利益		
固定資産売却益	18	17
投資有価証券売却益	—	102
特別利益合計	18	119
税金等調整前四半期純利益	6,848	5,884
法人税等	2,062	1,380
四半期純利益	4,786	4,503
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△22	151
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,808	4,352

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	4,786	4,503
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△712	533
繰延ヘッジ損益	98	12
為替換算調整勘定	525	△6,375
退職給付に係る調整額	84	△57
持分法適用会社に対する持分相当額	39	△504
その他の包括利益合計	36	△6,390
四半期包括利益	4,822	△1,886
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,767	△1,774
非支配株主に係る四半期包括利益	55	△112

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,848	5,884
減価償却費	5,341	4,941
のれん償却額	28	20
引当金の増減額(△は減少)	245	△133
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	124	72
受取利息及び受取配当金	△444	△634
支払利息	208	222
持分法による投資損益(△は益)	△86	△193
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△102
固定資産売却損益(△は益)	△28	△38
固定資産廃棄損	331	237
売上債権の増減額(△は増加)	5,399	△83
たな卸資産の増減額(△は増加)	△550	△369
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,077	248
未払消費税等の増減額(△は減少)	△976	△1,139
未払費用の増減額(△は減少)	△2,317	△434
その他	2,154	981
小計	14,201	9,480
利息及び配当金の受取額	569	682
利息の支払額	△221	△245
法人税等の支払額	△1,930	△2,061
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,617	7,855
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△319	△89
定期預金の払戻による収入	147	94
有形固定資産の取得による支出	△9,863	△8,748
有形固定資産の売却による収入	36	62
投資有価証券の取得による支出	△1,096	△7
投資有価証券の売却及び償還による収入	200	771
その他	△513	△316
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,409	△8,233
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,059	△9,221
コマーシャル・ペーパーの純増減額(△は減少)	—	3,000
長期借入れによる収入	568	10,906
長期借入金の返済による支出	△1,582	△4,434
自己株式の取得による支出	△1,504	△1,001
配当金の支払額	△1,045	△1,032
非支配株主への配当金の支払額	△77	△74
非支配株主からの払込みによる収入	146	—
その他	△2	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△437	△1,862
現金及び現金同等物に係る換算差額	102	△784
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	873	△3,024
現金及び現金同等物の期首残高	19,153	18,851
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	184	66
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,211	15,893

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ガラス事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	74,765	40,310	115,076	—	115,076
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	675	682	△682	—
計	74,772	40,986	115,759	△682	115,076
セグメント利益又は損失(△) (営業利益)	△537	7,302	6,765	4	6,769

(注) 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ガラス事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	69,461	35,919	105,380	—	105,380
セグメント間の内部 売上高又は振替高	94	509	604	△604	—
計	69,556	36,428	105,984	△604	105,380
セグメント利益 (営業利益)	1,276	4,532	5,809	—	5,809

(注) 調整額は、セグメント間取引消去であります。